



令和7年度
戦争と平和についての
おはなし会
【実施報告書】

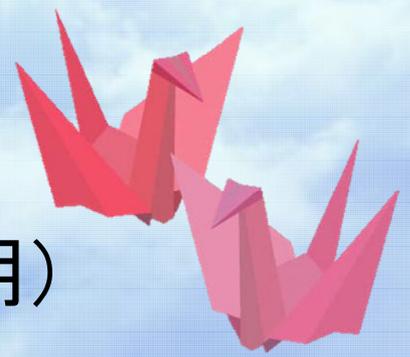
魚津市役所企画政策課

1. 実施スケジュール



- 7月15日(火) 9:00~よつば小学校4年生
- 7月17日(木) 13:40~道下小学校6年生
- 7月23日(水) 10:25~経田小学校6年生
- 1月22日(木) 13:30~清流小学校6年生
- 1月23日(金) 10:20~星の杜小学校6年生
- 1月28日(水) 13:00~東部中学校2年生
- 3月18日(水) 13:25~西部中学校2年生

2. 実施概要



- はじめに （おはなし会の趣旨を説明）
- おはなし① （平和についての絵本）
- おはなし② （東京大空襲の絵本）
- おはなし③ （富山大空襲の紙芝居又は絵本）
- DVD視聴 （「被爆の爪痕」）
- おはなし④ （広島原爆詩又は絵本）
- おはなし⑤ （長崎の被爆体験談）
- 全員で原爆詩を朗読
- 黙とう
- おわりに （おはなし会のまとめ）

3. 実施の様子

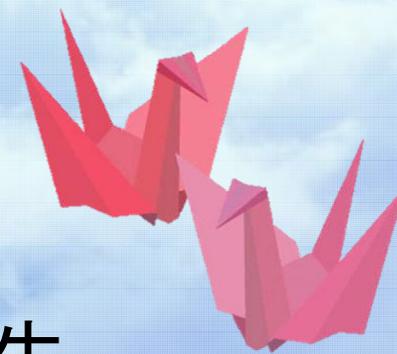


① 7月15日(火) よつば小学校4年生



(左)「富山大空襲 あの日も猛暑だった」を紙芝居する鈴木さん
(右)原爆詩「息子よ」を朗読する岩井さん

3. 実施の様子

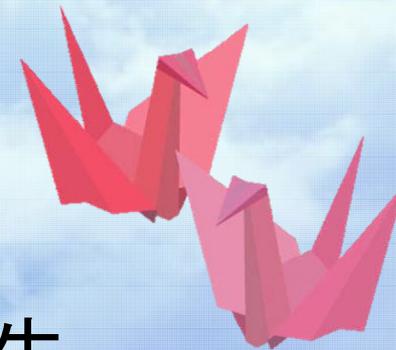


② 7月17日(木) 道下小学校6年生



(左) 絵本「字のないはがき」を朗読する村上さん
(右) 原爆詩「ヒロシマの空」を朗読する慶伊さん

3. 実施の様子

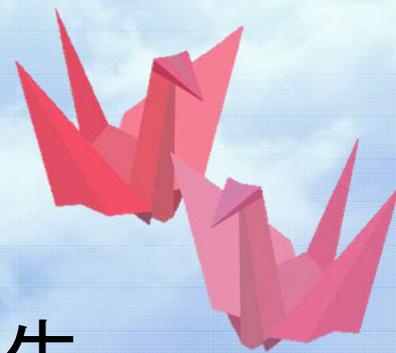


③ 7月23日(水) 経田小学校6年生



(左)「富山大空襲 あの日も猛暑だった」を紙芝居する鈴木さん
(右)三好妙子氏の被爆体験談を朗読する阿原さん

3. 実施の様子



④ 1月22日(木) 清流小学校6年生



(左) 絵本「字のないはがき」を朗読する岩井さん

(右) 「富山大空襲 あの日も猛暑だった」を紙芝居する山岸さん

3. 実施の様子



⑤ 1月23日(金) 星の杜小学校6年生



(左) 絵本「わたしのやめて」を朗読する笹田さん
(右) 原爆詩「ヒロシマの空」を朗読する山本さん

3. 実施の様子

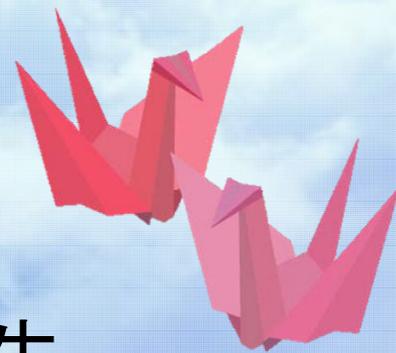


⑥ 1月28日(水) 東部中学校2年生



(左)「富山大空襲 あの日も猛暑だった」の紙芝居をする 大崎さん
(右)絵本「ちいちゃんのかげおくり」を朗読する 吉田さん

3. 実施の様子



⑦ 3月18日(水) 西部中学校2年生



(左) 絵本「のぶちゃんの戦争体験 富山大空襲」を朗読する竹内さん
(右) 長崎の被爆体験談について話す櫻坂さん

3. 実施の様子

◆広島・長崎に投下された原子爆弾についてのDVDの視聴や、戦争中に使われた日用品・写真等の展示を行いました。



4. 児童・生徒の感想（一部抜粋）



- 戦争のせいで、多くの命が失われ、多くの負傷者が出たり、原爆のせいで病気になり、亡くなった人など、罪なき人の命が失われてしまったので、戦争は絶対にしたくない、起こってはならないと思いました。これからは、戦争で亡くなった人たちのことを忘れないように生きようと思いました。（よつば小学校4年生）
- 戦争の恐ろしさや平和であることの大切さが改めてよく分かりました。おはなし会の方々が読み聞かせをしてくださった絵本や紙芝居、詩はどれもとても悲しい内容で、戦争の怖さが伝わってきました。今、日本平和なのは当たり前ではないし、戦争や原子爆弾で被害を受けて亡くなってしまったり悲しい気持ちになった人たちのことを忘れないことも大事だと思いました。（道下小学校6年生）
- 今自分たちが毎日ご飯を食べて、家族と一緒にいられることが当たり前ではないことに気づきました。これからは、戦争のことを忘れず、平和を大切にしていけることが大事だと思いました。今日聞いた話は、これからもずっと心に残しておきたいです。（経田小学校6年生）

4. 児童・生徒の感想（一部抜粋）



- 戦争を知っている人たちのいろいろな思いを知って、戦争の恐ろしさを理解することが大切だと思いました。そして、恐ろしさや怖さを知るために、戦争を知っている人たちに話を聞いたりするだけではなく、自分で社会の教科書を読んだり、本を読んだりして自分にできる戦争との向き合い方を大切にしていきたいです。より良い日本になるために人事ではなく自分事として考え、歴史を二度と繰り返さないことを意識していきたいと思いました。（清流小学校6年生）
- 今まで自分が知らなかったことや、深く考えたことのない事実をたくさん知ることができました。戦争では、多くの人々の命が奪われるだけでなく、生き残った人も悲しみや苦しみを抱えながら生きていかなければならないことを学びました。ニュースで戦争の話を見聞きすることがあっても、それを自分の生活と結びつけて考えたことはありませんでした。しかし、今回のおはなし会を通して、平和な毎日を当たり前と思わず、大切にしなければならないことを強く感じました。平和を守るためには、国や大人だけでなく、私たち一人ひとりの考え方や行動も関係すると思います。相手の気持ちを考えて行動することや、意見が違って話し合いで解決することが平和への第一歩だと学びました。（星の杜小学校6年生）

4. 児童・生徒の感想（一部抜粋）



- 早くこの世界から戦争が完全になくなってほしいと思いました。「ちいちゃんのかげおくり」というお話は、小学3年生の頃に国語の勉強で一度読んだことがありました。でも、今日は、あの頃とは違った視点で聞くことができました。今の日本では、考えられない話だから、私達は当たり前前に家族と幸せに暮らしているけど、今でもそんな経験をしている人が世界にいることはありえません。1つの国が核兵器を持っているから他の国も持たないと不安になるのです。そして、その連鎖でどんどん核兵器を持つ国が増えてしまいます。どこか大きな国が核兵器を持たなくなればきっと他の国も持たなくなるのに。そんな日が来ることを祈りたいです。どうか誰もが安全で暮らせる日が来ますように。（東部中学校2年生）
- 「私が生きているという当たり前のことが、本当はすごく大切なものだ」と思いました。毎日学校に行って、友達と話したりできることは、当たり前のことではないのです。戦争が起きると、そのすべてが一瞬でなくなってしまう可能性があり怖かったです。戦争を起こさないためには、国や一人ひとりができることをすることが大事だと思います。戦争を完全になくするのは簡単ではないけれど、相手と話し合ったり思いやることはできると思うので、それを続けて平和に近づけていきたいです。そして、平和の尊さを忘れずに生きていきたいです。（西部中学校2年生）